

2023年度前期		知の市場(シラバス)						新規			
科目No.	関連講座445a	科目名	においの科学と社会経済産業論(1)				副題	においの正体を自然科学の中に探り、香料と香料産業の歴史を振り返り社会経済との関わりを知る			
連携機関名	化学生物総合管理学会	水準	基礎	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第4水曜日19:00:00~21:00	拠点 (開講機関)	リモート・東京調布 (知の市場)
科目概要(300字)	梅の香に春を感じ、うなぎ屋の前で漂ってくるにおいに思わず立ち止まってしまったという経験は、誰にでもあるのではないだろうか。現代人が得る情報の大部分は視覚と聴覚からだと言われるが、嗅覚も私たちの日常生活の中で不可欠な感覚である。本講座では、まず、においや香りとは何なのか、私たちはどのような仕組みでにおいを感じているのかなどを考える。次に、化粧品やシャンプーあるいは缶コーヒーやカニ蒲鉾の香りのために産業用に創られたにおい物質である香料について、香料の成り立ちから現代の香料産業に至る歴史について解説しつつ、その社会経済的な意味を検証する。なお、後期には、引き続き「においの化学」や「現代香料産業」について解説を行う予定である。										
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)				講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
「においと香り」 事始め	1	身のまわりのにおいと香り	私たちは朝食でパンやコーヒーのにおいを嗅ぎ、通勤・通学・散歩の途中で花の香りに出会い、喉が渴けばグレープフルーツ風味の香料入りスポーツドリンク飲料を飲むなど、日々、多くのにおいに囲まれて生活している。本講座の初回として、「においとは何か、香りとは何か」を考えることから始める。				2023/4/26	Zoomを 活用して リモート 開催	藤田豊	藤田豊	化学生物総合管理学会 会員
	2	においの正体とその役割	においを感じる時、私たちの鼻はいったい何を捉えているのだろうか。世の中にはにおうモノとおわないモノがあるが、その違いはなぜ起こるのだろうか。私たちの鼻の粘膜を刺激しているのは何かを探り、においや香りとモノ・物質の関係について考察する。さらに、においや香りが持つ役割・効用についても検証する。				2023/5/24				
	3	においを感じる仕組み	音声はラジオで、映像はテレビで、それぞれ遠隔地に送ることができるのに、匂いはなぜ遠距離に送信できないのだろうか。音や光とおいとの違いに触れながら、ヒトが鼻で匂いを感じる仕組みを紹介する。				2023/6/28				
社会経済における 香料とその歴史	4	調香師の仕事および香料の社会経済的意味	現代社会では、香料は香水のみならず、シャンプーや石鹸、アイスクリームやチューインガムなど、身の回りのさまざまな商品に使われていて、原材料名として「香料」と記されている。それら香料はどこでどのように創られ、どのように利用されているのかなどについて、香料の社会経済における意味にも触れながら、香料の基礎知識を解説する。				2023/7/26				
	5	社会経済に多大な影響を及ぼした香料の歴史	花の香りは、古代エジプトの女王にも、万葉の歌人たちにも、古代から現代に至るまで多くの人びとに親しまれてきた。大航海時代の地理上の発見は、ヨーロッパ人が東南アジアに香料を求めたことに起因する。香りが人々の生活に深く関わり、香料が世界の歴史を動かしてきた姿を検証する。				2023/8/23				
	6	産業革命時の化学進展による香料産業の変革	16~18世紀にイギリスがアジアから輸入した品目には、香料以外に、中国の茶やインドの綿布がある。イギリスのご婦人方が毛織物よりもインド産綿織物を好んだことが産業革命のひとつのきっかけとなった。その後の産業革命の進展により化学工業が興る。産業革命と化学との関係を考察し、それが香料産業に与えた影響について説明する。				2023/9/27				